



まるお

<道しるべ>

自分を大切にすることから他人にも優しくなれるんだ

ルパン3世次元大介の言葉より

<学校教育目標>

自ら学び 自他を尊重し
心豊かでたくましい生徒の育成

<重点目標（スローガン）>

感謝+優しさ=笑顔と幸せへの道

発行：長崎市立丸尾中学校

文責：校長 川口 猛

令和8年7月17日（金） NO16

節目=原点に戻る&新しい自分をつくり始めるポイント

4月の始業式、入学式から4か月が経とうとしています。本日は、第1学期の終業式でした。新たなステージに立って、指導し始めた日から早いもので、101日（1年生は100日）です。この1学期をそれぞれ振り返った時、どのような点が成長したでしょうか。

私たちは長崎という地で生きています。長崎は様々な歴史をもったちでありますが、今から44年前に大きな災害に見舞われました。「7・23長崎大水害」です。終業式を終え、まもなく県大会を目前に控えた7月23日に、長崎は猛烈な雨と土砂災害にあい、一晩に299名が亡くなりました。私は、この災害は決して忘れてはならない災害と考え、終業式の日には、生徒に必ず話をします。この長崎大水害時、長与町で、1時間当たりの降水量が189ミリでした。この記録はいまだに越されていません。皆さん、亡くなられた方に哀悼の意を捧げてほしいと思います。終業式では、まずこの話から入りました。式の際に使用したスライドを掲載します。

私たち長崎に住む人間として、
知っておかなければならないことがある。

1982年7月23日（終業式の数日後）
長崎大水害
1時間あたり降水量 長与町で187mm。
この記録を超える記録はなし。
この災害により死者・行方不明者 299名

ご冥福をお祈りしましょう



水害に限らず災害はいつおこるか分からないことを再認識しよう。家族でハザードマップを確認しておきましょう。

さて、その次に話をしたのは、始業式や入学式で話をした、新しいステージでこのように頑張ろう!という目標について再度確認をしました。次に示すスライドがそれぞれです。始業式の日を使用したスライドを見ながら、簡単に確認しました。次に示すスライドです。

1学期の始業式や入学式に何を話したか覚えていますか？

要点1

有難し=ありがとう=感謝



笑顔と幸せにつながる

要点2

支えあい=思いやり=優しさ



笑顔と幸せにつながる

困難を伴う時

うれしい

憂

悲しみ、不安、心配、
やぜ...
あーあ...とか思う

まわりの人が、その気持ちに気づいて、寄り添うことができれば...

優

要点3

学校は集団生活だから、みんなで『感謝』と『優しさ』をもちたい

要点4

お互いに、幸せをつかもう！



すばらしいチームにすばらしい選手は育ちます。
すばらしいチームを作っていきます。

要点5

辛 + 一 = 幸

つらいけど、何か一つ加える（プラスする）

感謝 + 優しさ

= 笑顔と幸せへの道

これが、今年度目指すスローガンです。果たして、この実現度合い、意識の度合い、実践の度合いはどれくらいだろうかということを生徒たちに投げかけました。

実現度は何点ですか総合点をつけてみよう

実際の点数は、この通信作成時にはわかりませんが、学校評価の集計でおおよその概要はわかりました。今後は、もっと意識しながら行動していく必要があると感じています。お子様が難点何点だったかは、ご自宅でご確認ください。さて、自分の達成度をもとに、今後どのように過ごしていくべきかを考える大切さを述べました。

できている人もいれば、そうではない人もいます。

全員が、すべてを100%できたならば、それはすごいことだと思う。もちろんそうあってほしいが、100%を達成するのは、至難の業であり、それが普通かもしれない。

人生のどこかで、ちょっと立ち止まり、**軌道修正**することが必要

その軌道修正の**チャンス (chance)**を自分でより多く設定できれば、そこから新たな**チャレンジ (challenge)**が始まり、大きな成長につながる。そうすれば、**前の自分から新しい自分へ変化 (change)**する。

1学期の終わりを軌道修正するポイントにし、その軌道修正するチャンス (chance) を設定し、そこから新しいスタートになります。これこそ、新しい自分づくり、新しい集団作りのチャレンジ (challenge) です。さやってみましょう。そういう意味では、トライ (try) です。それを継続することで、新しい自分、新しい集団に変わっていくのです。変わる=チェンジ (change) です。この話したあと、この話は、実は



これ、知ってる?知らない?.....

学校だよりで紹介した一部です。

私たちを一本の竹にたとえてみよう。

長くて細い竹がどんなに強い風にも負けずまっすぐ伸び成長していけるのはなぜか?



答えは何でしょう?

1年間の時の流れの中で、今日がどのような意味を持つのかを最後に確認しました。私たちが1本の竹だったとしたら、丈がまっすぐに強く成長するのは、節があるかで、私たちにとって節となるのが、今日のような終業式とか、始業式とか節目になる時です。



答えは、『節』があるからです。竹には、この節(ふし)がいくつもあから、折れずにまっすぐ伸びていくのです。

今日は、終業式ですが、成績は2期制なので、今日は通知表はもらえません。しかし、節目だからこそ、しっかり自分を振り返って、前期の通知表が渡される10月初旬に備えてほしい。.....9月の終わりも節目です。

今日から、前期の終わりに向けて、再スタートです。まだまだ今から追い込める!夏休みは勝負所!

今年度から、成績が2期生になりましたので、夏休みの課題をはじめ、この夏休みの過ごし方で自分は大きく変わります。

7月7日 七夕 願いよ 天まで届け・・・



七夕に合わせて、生徒たちがさまざまな願いを短冊に込めて掲示していました。季節感そして道德心を感ずる良い光景でした。願いが届くといいですね。

